

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実績一覧

令和2年度事業実績一覧.xlsx

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (千円)	うち交付金 充当額 (千円)	事業の実績（主なもの） ①成 果 ②効 果
1	大任町応援給付金(個人)	感染症の影響により、家庭ではマスクや消毒液の購入といった臨時的な出費の増がうかがえるため、特に支援が必要と見込まれる町民に対し、対象者1人10,000円の給付金の支給を行い、経済的支援を図る。	R2.5	R3.3	16,993	16,993	①受給者数 1,658人 ②対象者に給付金を支給することにより、経済的支援につながった。
2	大任町応援給付金(事業所)	感染対策を余儀なくされている町内の事業所に対し、給付金の支給を行い、経済的支援を図る。	R2.5	R3.3	21,860	21,860	①対象事業所数 131事業所 ②対象事業所に給付金を支給することにより、経済的支援につながった。
3	大任町応援事業(家庭向け支援物資支給)	町内一帯あたり、アルコール消毒液、固形石鹼の現物支給を行い、感染症予防に努めてもらうとともに、感染対策に対する意識強化を図る。さらに、休校等で在宅時間が増えている子ども(中学生以下)のいる世帯を対象に、食費の負担軽減のため、子育て支援米(新米)と納豆の配給を行い、経済的支援を図る。	R2.5	R3.3	7,339	7,339	①支援物資 アルコール消毒液500ml1本、固形石鹼1箱3個入り、米10kg、納豆3セット ②消毒液等が品薄で購入が難しかった時期に支給したことで、町民の感染予防の実施を促し、また子育て世帯の経済的支援につながった。
4	オンライン授業の実現に向けたネットワーク環境整備事業	感染症の拡大に伴う臨時休校時でもオンライン授業が実施できるようにモバイルWi-Fiルーターを購入し、ネットワーク環境を整備できていない世帯に貸与することで学習環境の充実を図る。	R2.5	R3.3	997	997	①モバイルWi-Fiルーター 70台 ②モバイルWi-Fiルーターを貸与することにより、オンライン授業に対応できる環境整備を行い、円滑にオンライン授業が実施できるようになった。
5	小中学校タブレット端末及び電子黒板等整備事業	小中学校からの遠隔学習機能の強化事業として、1人1台タブレット端末及び電子黒板等を導入することにより、臨時休校時でもそれらを活用し、学習過程の実施に支障が生じないようGIGAスクール構想に基づく学習環境の充実を図る。	R2.4	R3.3	144,725	144,725	①タブレット端末 577台 電子黒板 46台 ネットワーク環境整備 一式 デジタル教科書 18冊 ②1人1台タブレット端末及び電子黒板等を導入することで、オンライン授業に対応できる環境整備を行い、円滑にオンライン授業が実施できるようになった。
6	子ども・子育て支援交付金(児童見守り事業)	感染拡大に伴う臨時休校時に、町内の公民館等を利用し、児童の見守り事業を実施することで、共働き世帯等の支援を図る。	R2.4	R3.3	1,742	582	①利用件数 870件 ②児童の見守り事業を実施し、共働き世帯等の支援につながった。
7	大任町応援給付金(個人・拡大分)	国の制度により実施された特別定額給付金事業において、支給要件の対象外となった4月28日以降に誕生した新生児1人に対し、100千円の支給を行うことで経済的支援を図る。	R2.10	R3.7	3,600	3,600	①対象者数 36人 ②国の制度において支給要件の対象外となった新生児についても平等に支援することができた。

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (千円)	うち交付金 充当額 (千円)	事業の実績 (主なもの) ①成 果 ②効 果
8	予防対策整備事業(備消耗品購入)	公共施設及び小中学校等において、感染対策用の消耗品及び備品を整備することで、感染リスクの低減を図る。	R2.4	R4.3	29,801	29,801	①感染対策用消耗品(主な購入品) ・消毒液、ハンドソープ マスク 一式 ・手袋、ペーパータオル、ポリ袋 一式 ・パーテーション、防災用簡易ベッド 一式 ・防災備蓄倉庫 一式 感染症対策用備品(主な購入品) ・サーモカメラ 学校 4台 図書室 1台 総合福祉センター 1台 ・空間除菌脱臭機 学校 66台 図書室 2台 子育て支援センター 1台 ・デスク、本除菌ボックス 一式 ・学校分散教室に係る机・椅子等 一式 ②感染対策用品を整備することで、児童生徒及び施設利用者の感染リスクの低減につながった。
9	予防対策整備事業	小学校において、ハトの侵入防止の網を設置し、毎日定期的な換気を実施することで、感染リスクの低減を図る。	R3.3	R3.8	1,115	1,115	①小学校(1校) ②換気の実施により、感染リスクの低減につながった。
10	学校臨時休業対策費補助金	感染症の拡大に伴い、臨時休校となった学校の給食費の助成を行うことで、保護者の経済的支援を図る。	R2.9	R3.3	2,183	2,183	①実施期間 令和2年5月25日から5月29日までの5日分及び令和2年8月分 対象児童・生徒数 約420人 ②子育て世帯の経済的支援につながった。
11	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 小中学校に対し、感染対策用の消耗品費及び備品購入費等の助成を行い、集団感染のリスクの低減を図る。	R2.9	R3.3	3,000	1,500	①感染対策消耗品(主な購入品) ・消毒液、ハンドソープ マスク 一式 ・手袋、ペーパータオル、ポリ袋 一式 ・パーテーション 49個 感染症対策備品(主な購入品) ・網戸設置 67ヶ所 ・換気用オート扇 8台 ・エアコン設置 1台 ②感染症対策用品を整備することで、児童生徒及び教職員等の感染リスクの低減につながった。
12	大任町応援給付金(個人・拡大分)	感染症の影響により、支援が必要と見込まれる高校1年生から大学4年生(専門学校等含む)の子の養育者に対して、給付金を支給することで、経済的支援を図る。	R2.9	R3.3	1,510	1,510	①受給者数 高校生 28人 大学生・専門学校生等 41人 ②対象者に給付金を支給することにより、経済的支援につながった。
13	小中学生修学旅行費助成事業	感染対策として、小中学生の修学旅行における宿泊部屋やバスの人員分散のために必要となる費用の助成を行い、感染リスクの低減を図る。	R2.9	R3.3	765	765	①小学校措置内容(2校) ・大型バス1台追加及び乗務員1名増員 ・小型バスから中型バスに変更 中学校措置内容(1校) ・バス追加及び宿泊部屋追加 ②感染リスクの低減につながった。

No	交付対象事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (千円)	うち交付金 充当額 (千円)	事業の実績（主なもの） ①成 果 ②効 果
14	インフルエンザ予防接種費用 助成事業	インフルエンザに感染すると、小さな子どもや高齢者は気管支炎や肺炎などの合併症を起こし、重症化するリスクが高まる恐れがあり、新型コロナウイルス感染症が広がっている今年は特に注意が必要となるため、予防接種の費用を助成することで、重症化リスクの低減を図る。	R2.9	R3.3	2,620	2,620	①対象接種件数 748件 ②インフルエンザとの同時感染による重症化リスクの低減につながった。
15	予防対策整備事業	公共施設及び小中学校等において、ウイルス除菌効果のある次亜塩素酸ナトリウムのガラスコーティングを施し、長期間の除菌を行うことにより、感染リスクの低減を図る。	R2.10	R4.3	6,593	6,593	①公共施設 11ヶ所 学習タブレット端末 約430台 ②感染リスクの低減につながった。
16	情報発信事業	KBC九州朝日放送が放送する「ふるさとWish」の協賛を行い、町の新型コロナウイルス感染症等に関する情報が1人でも多くの住民に正確に周知されるよう努める。	R2.9	R3.3	1,100	1,100	①広告宣伝に係る経費 一式 ②感染症等に関する情報を、より多くの住民に周知できた。
17	支援物資(マスク)配布事業	町内保育所児童、小中学生及び町内福祉施設の入所者、職員等に対し、マスクを配布することで、集団感染のリスクの低減を図る。	R2.10	R3.5	3,300	3,300	①マスク配布実績(1人当たり3枚) 保育所 224人 小中学校 507人 町内福祉施設等 801人 ②感染リスクの低減につながった。
18	疾病予防対策事業費等補助 金	(新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業) 高齢者等へのPCR検査を実施し、感染拡大防止を図る。	R2.10	R3.3	120	60	①実施者数 6人 ②感染拡大防止につながった。
			合 計		249,363	246,643	